

令和3年度 山形県病院事業会計決算の概要 【経常収支は16億3,300万円の黒字】

令和4年7月
病院事業局

1 病院事業合計

(1) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
入院収益	a	20,525	1,088	5.6%	
入院患者延数	b	346,546人	1,925人	0.6%	
入院診療単価	a/b	59,227円	2,826円	5.0%	
平均在院日数		15.0日	▲0.2日	▲1.3%	
病床利用率		74.3%	0.1p	0.1%	
外来収益	c	8,967	641	7.7%	
外来患者延数	d	512,628人	17,653人	3.6%	
外来診療単価	c/d	17,492円	671円	4.0%	

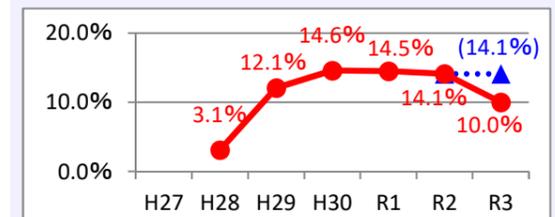
(2) 損益の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
総収益	A	42,485	1,245	3.0%	
経常収益	B	41,646	1,668	4.2%	
医業収益	C	30,190	1,760	6.2%	
医業外収益		11,456	▲92	▲0.8%	
(うち新型コロナ補助金)		(4,246)	(617)	(17.0%)	
特別利益		839	▲423	▲33.5%	
総費用	D	40,042	374	0.9%	
経常費用	E	40,013	995	2.6%	
医業費用	F	38,226	970	2.6%	
医業外費用		1,787	25	1.4%	
特別損失		29	▲621	▲95.5%	
医業収支	C-F	▲8,036	790	-	
総収支	A-D	2,443	871	55.4%	
経常収支	B-E	1,633	673	70.1%	

(参考①)新型コロナウイルス感染症(新型コロナ)にかかる補助金等の受入状況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
医業外収益(病床確保料等)		4,246	617	17.0%	
特別利益		6	▲571	▲99.0%	
資本的収入(設備整備等)		745	405	119.1%	
計		4,997	451	9.9%	

(参考②) 資金不足比率の推移
病院事業会計は、平成28年度から資金不足が生じ、平成29年度には資金不足比率が10%を超えたため、「資金不足等解消計画」を策定し、経営改善に取り組んでいる。
令和3年度の地方公共団体の財政の健全化に関する法律による資金不足比率は、計画値14.1%に対し10.0%となった。



※ 表中の「増減」及び「増減率」は対前年度。また、「医業収支」「経常収支」及び「総収支」の「増減率」は当年度及び前年度のいずれもが正数の時のみ記載。

2 中央病院 【経常収支は13億3,600万円の黒字】

(1) 新型コロナ対応のための主な取組
○新型コロナ専用病床を47床(うち重症者用8床)確保(※看護体制確保のため、一部の病床を休床)
○人間ドック受入一時休止(R3.6.30~再開)
○新型コロナ感染症外来の運営 等

(2) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
入院収益	a	12,757	755	6.3%	
入院患者延数	b	150,066人	3,455人	2.4%	
入院診療単価	a/b	85,009円	3,145円	3.8%	
平均在院日数		10.4日	0.1日	1.0%	
病床利用率		69.2%	1.6p	2.4%	
外来収益	c	5,423	286	5.6%	
外来患者延数	d	245,044人	7,908人	3.3%	
外来診療単価	c/d	22,134円	469円	2.2%	

(4) 令和3年度の主な設備投資 (単位:百万円)
○空調設備更新(R2~R5債務負担)(219)
○医療機器等の整備(972)
(脳血管撮影装置更新(196)、体外式膜型人工肺(ECMO)1台(20)、人工呼吸器4台(15)、手術支援ロボット(385)、等)

(3) 経常収支の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
医業収益	A	18,580	1,045	6.0%	
医業外収益	B	6,392	▲909	▲12.5%	
(うち新型コロナ補助金)		(2,700)	(▲240)	(▲8.2%)	
医業費用	C	22,433	501	2.3%	
医業外費用	D	1,203	▲43	▲3.5%	
医業収支	A-C	▲3,853	544	-	
経常収支(A+B)-(C+D)		1,336	▲322	▲19.4%	

《主な増減要因》
○医業収益[+1,045]
・患者延数の増や手術件数の増等による入院及び外来収益の増 [入院: +755、外来: +286]
○医業外収益[▲909]
・新型コロナ補助金の減[▲240]
※うち病床確保料[▲91]
・一般会計繰入金の減[▲636]
○医業費用[+501]
・患者延数の増等による材料費の増[+233]
・A重油の高騰等による燃料費の増[+107]
・予定入院前PCR検査の実施等による手数料の増[+100]

4 河北病院 【経常収支は3,600万円の赤字】

(1) 新型コロナ対応のための主な取組
○新型コロナ専用病床を6床確保(※看護体制確保のため、一部の病床を休床)
○山形県PCR自主検査センターの運営
○新型コロナ感染症外来の運営 等

(2) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
入院収益	a	1,090	▲157	▲12.6%	
入院患者延数	b	25,482人	▲4,941人	▲16.2%	
入院診療単価	a/b	42,764円	1,779円	4.3%	
平均在院日数		16.6日	0.0日	0.0%	
病床利用率		53.7%	▲13.2p	▲19.7%	
外来収益	c	830	60	7.8%	
外来患者延数	d	66,660人	2,026人	3.1%	
外来診療単価	c/d	12,455円	541円	4.5%	

(4) 令和3年度の主な設備投資 (単位:百万円)
○医療機器等の整備(114)
(デジタル式乳房X線撮影装置更新(35)、生体情報モニター一式(17)、等)

(3) 経常収支の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
医業収益	A	1,975	▲79	▲3.8%	
医業外収益	B	1,888	770	68.9%	
(うち新型コロナ補助金)		(738)	(680)	(1172.4%)	
医業費用	C	3,741	47	1.3%	
医業外費用	D	158	32	25.4%	
医業収支	A-C	▲1,766	▲126	-	
経常収支(A+B)-(C+D)		▲36	612	-	

《主な増減要因》
○医業収益[▲79]
・新型コロナ専用病床確保に伴う入院収益の減 [▲157]
○医業外収益[+770]
・新型コロナ補助金の受入れ[+680]
※うち病床確保料[+621]
うちPCR自主検査センター分[+74]
○医業費用[+47]
・病棟再編(R2.4月~156床→130床)に伴う職員数の減等によりR2に一時的にゼロになった退職給付費の増等による給与費の増[+52]

3 新庄病院 【経常収支は6億7,700万円の黒字】

(1) 新型コロナ対応のための主な取組
○新型コロナ専用病床を最大15床確保(※看護体制確保のため、一部の病床を休床)
○新型コロナ感染症外来の運営 等

(2) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
入院収益	a	5,010	574	12.9%	
入院患者延数	b	100,164人	5,902人	6.3%	
入院診療単価	a/b	50,020円	2,956円	6.3%	
平均在院日数		14.2日	▲0.5日	▲3.4%	
病床利用率		80.5%	4.8p	6.3%	
外来収益	c	2,450	307	14.3%	
外来患者延数	d	169,116人	7,383人	4.6%	
外来診療単価	c/d	14,483円	1,234円	9.3%	

(4) 令和3年度の主な設備投資 (単位:百万円)
○改築整備事業(3,037)
(本体建設工事(2,658)、敷地造成工事(第2期)(199)、等)
○医療機器等の整備(188)
(白内障・硝子体手術装置更新(27)、人工呼吸器2台(8)、回診用X線撮影装置1台(26)、等)

(3) 経常収支の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
医業収益	A	7,686	885	13.0%	
医業外収益	B	2,056	79	4.0%	
(うち新型コロナ補助金)		(786)	(214)	(37.4%)	
医業費用	C	8,768	484	5.8%	
医業外費用	D	297	26	9.6%	
医業収支	A-C	▲1,082	401	-	
経常収支(A+B)-(C+D)		677	454	203.6%	

《主な増減要因》
○医業収益[+885]
・患者延数の増や手術件数の増等による入院及び外来収益の増 [入院: +574、外来: +307]
○医業外収益[+79]
・新型コロナ補助金の増[+214]
※うち病床確保料[+269]
・一般会計繰入金の減[▲147]
○医業費用[+484]
・病棟再編(R1.11月~388床→343床)に伴う職員数の減等によりR2に一時的に減少した退職給付費の増等による給与費の増[+178]
・患者延数の増等による材料費の増[+245]

5 こころの医療センター 【経常収支は9,000万円の赤字】

(1) 新型コロナ対応のための主な取組
○電話による外来診療の推奨
○R2に一時休止していたデイケアや訪問看護は感染対策を徹底しながら再開 等

(2) 入院及び外来の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
入院収益	a	1,668	▲84	▲4.8%	
入院患者延数	b	70,834人	▲2,491人	▲3.4%	
入院診療単価	a/b	23,549円	▲341円	▲1.4%	
平均在院日数		157.3日	9.6日	6.5%	
病床利用率		91.1%	▲3.2p	▲3.4%	
外来収益	c	264	▲12	▲4.3%	
外来患者延数	d	31,808人	336人	1.1%	
外来診療単価	c/d	8,292円	▲467円	▲5.3%	

(4) 令和3年度の主な設備投資 (単位:百万円)
○医療機器等の整備(48)
(ネットワーク機器更新(45)、等)

(3) 経常収支の概況 (単位:百万円)

		令和3年度		増減	増減率
医業収益	A	1,949	▲91	▲4.5%	
医業外収益	B	1,102	▲31	▲2.7%	
(うち新型コロナ補助金)		(22)	(▲37)	(▲62.7%)	
医業費用	C	3,020	▲28	▲0.9%	
医業外費用	D	121	7	6.1%	
医業収支	A-C	▲1,071	▲63	-	
経常収支(A+B)-(C+D)		▲90	▲101	-	

《主な増減要因》
○医業収益[▲91]
・職員の新型コロナ感染に伴う新規入院受入制限等による入院収益の減[▲84]
・電話診療の推奨による診療単価の減等による外来収益の減[▲12]
○医業外収益[▲31]
・新型コロナ補助金の減[▲37]
※うち病床確保料[+4]
○医業費用[▲28]
・ナースコール設備(H26取得)等の減価償却終了等による減価償却費の減[▲21]